

教科（科目）	情報（情報Ⅰ）	単位数	2単位	学年（コース）	2年次必修
使用教科書	東京書籍『-新編-情報Ⅰ』				
副教材等	なし				

1 学習目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。

2 指導の重点

- ・情報と情報技術及び問題を発見・解決する方法について理解を深め、これらを効果的に活用する能力を養う。
- ・情報社会との関わりについて考え、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現やコンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけている。情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点からとらえ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

4 評価方法

評価は次の観点から行います。

	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査や小テストの分析 ・授業ワークシートの内容 から評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査や小テストの分析 ・実習課題の内容 から評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業や実習への出席や取り組み ・授業ワークシートや実習課題の提出状況 から評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4	情報を伝える	19 ・情報とメディアの特性 ・デジタルの世界へ ・数値と文字のデジタル表現 ・音と画像のデジタル表現 ・色と動画のデジタル表現 ・目的に応じたデジタル化 ・情報デザイン ・ユニバーサルデザイン ・情報デザインの流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・2進法とデジタル表現の仕組みを理解する。 ・情報デザインについて学ぶ。 ・プレゼンテーションソフトウェアを用いて、考えをまとめ、表現する方法を学ぶ。 	a b c	課題・前期中間考査
5					
6					
7	データを活用する	19 ・ネットワークとインターネット ・インターネットの仕組み ・サーバとクライアント ・インターネット上のサービス ・情報セキュリティ ・データの形式 ・さまざまなデータモデル ・データ分析の流れ ・目的に合わせたデータの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの仕組み（インターネットや電子メールの仕組み、情報セキュリティ）を学ぶ。 ・表計算ソフトウェアを用いて、データの管理や分析と利用について学ぶ。 	a b c	課題・前期期末考査
9					
10	情報で問題を解決する	16 ・問題解決の流れ ・発想法 ・コミュニケーション手段の変化 ・ネットコミュニケーションの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決のプロセスについて学ぶ。 ・ネットコミュニケーションの特徴、個人情報保護、著作権、情報モラルを理解し、情報社会における望ましい態度について学ぶ。 	a b c	課題・後期中間考査

11		<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル ・個人情報の流出 ・傷つかない傷つけないために ・著作権 ・情報技術の発展 ・情報化と私たちの生活の変化 ・よりよい情報社会へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報技術がもたらした社会変革と課題について考える。 		
12	コンピュータを活用する	16 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータとは何か ・ソフトウェアの仕組み ・演算の仕組みとコンピュータの限界 ・アルゴリズムの表現 ・プログラムの基本構造 ・発展的なプログラム ・モデル化とシミュレーション ・シミュレーションの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組み（構成する装置，ソフトウェア，演算の仕組み）を知る。 ・プログラミング言語を用いて、アルゴリズムとプログラムの基本構造を学ぶ。 ・モデル化とシミュレーションを学ぶ。 	a b c	課題・小テスト
1					
2					

計 70 時間 (50 分授業)

6 課題・提出物等

- ・授業では授業ワークシートや小テストを課し提出を求めます。定期考査はこれをもとに行います。
- ・実習では課題（レポートや作品）の提出を求めます。

7 担当者からの一言

毎回の授業に熱心に取り組み、授業ワークシートや課題をきちんと提出して下さい。特に Excel やプログラミングなどの実習は、欠席すると理解につまずき、課題の提出が難しくなります。